



2026年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年4月1日

上場会社名 日本フィルコン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5942 URL <https://www.filcon.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名倉 宏之
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理・経営企画管掌 (氏名) 齋藤 芳治 (TEL) 042-377-5711
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年11月期第1四半期の連結業績(2025年12月1日~2026年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期第1四半期	6,864	3.8	287	—	341	350.9	147	—
2025年11月期第1四半期	6,613	△4.5	△23	—	75	△66.9	△11	—

(注) 包括利益 2026年11月期第1四半期 1,135百万円(107.4%) 2025年11月期第1四半期 547百万円(65.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期第1四半期	7.62	—
2025年11月期第1四半期	△0.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年11月期第1四半期	44,158	23,333	51.9
2025年11月期	42,957	22,552	51.6

(参考) 自己資本 2026年11月期第1四半期 22,922百万円 2025年11月期 22,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2026年11月期	—	—	—	—	—
2026年11月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年11月期の連結業績予想(2025年12月1日~2026年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	27,600	△0.9	900	34.7	1,100	16.5	450	23.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年11月期1Q	22,167,211株	2025年11月期	22,167,211株
2026年11月期1Q	2,897,796株	2025年11月期	2,762,295株
2026年11月期1Q	19,337,290株	2025年11月期1Q	19,443,829株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式(2026年11月期第1四半期 75,500株、2025年11月期 95,800株)を含めております。また、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価の上昇が続いているものの、個人消費や設備投資は緩やかに回復している状況となっております。海外経済はアメリカの通商政策の動向や、イラン情勢により先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況下、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は6,864百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は287百万円（前年同期営業損失23百万円）、経常利益は341百万円（前年同期比350.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は147百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失11百万円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①産業用機能フィルター・コンベア事業

産業用機能フィルター・コンベア事業は以下の分野で構成されます。

製紙製品分野	紙を抄くために使われる網(ワイヤー)の製造・販売
産業用コンベヤーベルト・フィルター分野	「ふるい分け」・「ろ過」・「搬送」用の工業用金網の製造・販売

製紙製品分野では、国内は紙の需要が減少するなか、引き続き製紙会社の生産能力削減の動きが顕著になっております。海外は板紙や衛生紙、不織布などの需要は堅調ですが、特に欧州での需要減少が継続しております。このような状況下、国内の売上高は減少した一方、海外の売上高は前年同期と比べ増加いたしました。

産業用コンベヤーベルト・フィルター分野では、食品業界向けのコンベヤーベルトの販売が増加したことなどにより、売上高は前年同期と比べ増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は4,983百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は国内連結子会社において、退職金制度変更に伴い退職給付費用が減少したため、266百万円（前年同期比117.4%増）となりました。

②電子部材・フォトマスク事業

電子部材・フォトマスク事業は以下の分野で構成されます。

エッチング加工製品分野	金属材料・複合フィルム材料をエッチング加工した製品の製造・販売
フォトマスク製品分野	半導体・ディスプレイ・プリント基板・MEMSなどを製造するときに使用されるツールで、パターニングの原版となるフォトマスクの製造・販売

電子部品業界は、AI関連の最先端製品の需要は旺盛であります、車載や産業機械向けの需要は軟調となっております。

そのような状況下、通信デバイス向けなどの製品の販売が好調であり、エッチング加工製品分野、フォトマスク製品分野ともに売上高は前年同期と比べ増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は1,139百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は前期末に実施した減損損失の計上により減価償却費が減少したことにより201百万円（前年同期比637.2%増）となりました。

③環境・水処理関連事業

環境・水処理関連事業は、プール並びにろ過装置の設計・販売、天然ガスパイプラインの腐食・ガス漏れを防ぐ絶縁継手の販売などを行っております。

当セグメントの外部顧客への売上高は482百万円（前年同期比10.2%増）、営業損失は20百万円（前年同期営業損失44百万円）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、当社が保有する不動産を店舗・マンション・駐車場等として賃貸しております。

既存の賃貸物件が順調に稼働した結果、当セグメントの外部顧客への売上高は257百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は192百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

（注）各セグメントの営業利益の合計額と連結業績における営業利益との差異352百万円（前年同期比7.8%増）は、主として各セグメントに配分していない全社費用であります。

（2）財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べ54百万円増加し、21,497百万円となりました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が212百万円減少した一方で、仕掛品が229百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,146百万円増加し、22,660百万円となりました。これは主として、機械装置及び運搬具が128百万円、投資有価証券が538百万円、投資その他の資産のその他に含まれる退職給付に係る資産が209百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,201百万円増加し、44,158百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ410百万円増加し、15,187百万円となりました。これは主として、流動負債その他が735百万円減少した一方で、短期借入金が887百万円、賞与引当金が246百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ10百万円増加し、5,637百万円となりました。これは主として長期借入金が増加した一方で、固定負債その他が247百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ420百万円増加し、20,824百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ780百万円増加し、23,333百万円となりました。これは主として、為替換算調整勘定が664百万円、その他有価証券評価差額金が303百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年11月期の連結業績予想につきましては、2026年1月14日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,189,653	5,029,000
受取手形、売掛金及び契約資産	8,559,956	8,347,247
商品及び製品	3,669,330	3,736,994
仕掛品	1,441,229	1,670,582
原材料及び貯蔵品	1,892,069	1,929,089
その他	774,151	872,638
貸倒引当金	△83,110	△88,067
流動資産合計	21,443,279	21,497,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,534,918	5,587,757
機械装置及び運搬具（純額）	3,283,792	3,412,049
土地	4,563,191	4,611,278
その他（純額）	656,877	785,284
有形固定資産合計	14,038,780	14,396,370
無形固定資産		
のれん	176,219	167,645
その他	212,421	209,324
無形固定資産合計	388,640	376,969
投資その他の資産		
投資有価証券	3,196,345	3,735,194
リース投資資産	340,540	335,414
その他	3,553,909	3,821,107
貸倒引当金	△4,402	△4,402
投資その他の資産合計	7,086,392	7,887,313
固定資産合計	21,513,813	22,660,653
資産合計	42,957,092	44,158,139

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,586,463	3,719,789
短期借入金	6,234,541	7,121,591
1年内返済予定の長期借入金	1,939,668	1,859,592
未払法人税等	101,187	60,725
賞与引当金	60,536	306,991
環境対策引当金	1,220	1,220
その他	2,853,230	2,117,274
流動負債合計	14,776,847	15,187,185
固定負債		
長期借入金	3,425,760	3,173,205
退職給付に係る負債	234,898	256,709
長期預り敷金保証金	944,390	938,169
資産除去債務	111,630	111,657
その他	910,755	1,157,954
固定負債合計	5,627,434	5,637,697
負債合計	20,404,282	20,824,882
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,782,749	1,782,749
利益剰余金	15,151,860	15,026,281
自己株式	△1,396,355	△1,474,169
株主資本合計	18,223,835	18,020,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	548,309	851,511
為替換算調整勘定	2,780,313	3,444,853
退職給付に係る調整累計額	631,646	605,907
その他の包括利益累計額合計	3,960,269	4,902,271
非支配株主持分	368,705	410,541
純資産合計	22,552,810	23,333,257
負債純資産合計	42,957,092	44,158,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
売上高	6,613,008	6,864,088
売上原価	4,460,447	4,550,055
売上総利益	2,152,561	2,314,032
販売費及び一般管理費	2,176,036	2,026,500
営業利益又は営業損失(△)	△23,475	287,531
営業外収益		
受取利息	1,268	2,929
受取配当金	17,664	23,879
持分法による投資利益	68,434	71,358
その他	71,379	47,940
営業外収益合計	158,746	146,108
営業外費用		
支払利息	28,898	46,846
その他	30,531	44,844
営業外費用合計	59,429	91,691
経常利益	75,841	341,949
特別損失		
減損損失	9,603	71,731
特別損失合計	9,603	71,731
税金等調整前四半期純利益	66,238	270,217
法人税等	52,871	103,001
四半期純利益	13,366	167,216
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,465	19,784
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,099	147,431

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
四半期純利益	13,366	167,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,943	303,202
為替換算調整勘定	409,750	659,863
退職給付に係る調整額	△12,375	△25,739
持分法適用会社に対する持分相当額	91,615	30,460
その他の包括利益合計	533,933	967,787
四半期包括利益	547,300	1,135,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	517,474	1,089,433
非支配株主に係る四半期包括利益	29,825	45,570

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	4,876,724	1,040,138	300,472	—	6,217,334	—	6,217,334
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	137,635	—	137,635	—	137,635
顧客との契約から生じ る収益	4,876,724	1,040,138	438,107	—	6,354,970	—	6,354,970
その他の収益(注3)	—	—	—	258,038	258,038	—	258,038
外部顧客への売上高	4,876,724	1,040,138	438,107	258,038	6,613,008	—	6,613,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	348	1,015	3,000	4,363	△4,363	—
計	4,876,724	1,040,486	439,123	261,038	6,617,372	△4,363	6,613,008
セグメント利益 又は損失(△)	122,581	27,396	△44,678	198,632	303,932	△327,407	△23,475

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△327,407千円は、内部取引にかかわる調整額△3,551千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△323,855千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子部材・フォトマスク事業」セグメントにおいて、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては9,603千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	4,983,777	1,139,622	327,483	—	6,450,883	—	6,450,883
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	155,320	—	155,320	—	155,320
顧客との契約から生じ る収益	4,983,777	1,139,622	482,803	—	6,606,203	—	6,606,203
その他の収益(注3)	—	—	—	257,884	257,884	—	257,884
外部顧客への売上高	4,983,777	1,139,622	482,803	257,884	6,864,088	—	6,864,088
セグメント間の内部 売上高又は振替高	727	1,733	233	3,090	5,783	△5,783	—
計	4,984,504	1,141,355	483,036	260,974	6,869,872	△5,783	6,864,088
セグメント利益 又は損失 (△)	266,434	201,977	△20,982	192,902	640,331	△352,800	287,531

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△352,800千円は、内部取引にかかわる調整額△3,940千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△348,859千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子部材・フォトマスク事業」セグメントにおいて、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては71,731千円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	451,203千円	377,291千円
のれんの償却額	14,299千円	12,736千円